秀養邦海

文武両道
2020.03.18
第６２号
進路指導部

2年　１月記述模試上位者③

先輩300人に聞いた！「高３生になる前にやるべきこと」ベスト３

※2017年11月実施 ゼミサポーターアンケート結果より

難関大に合格した300人の先輩たちに、高３生になる前にやるべきことを聞いてみたよ。今すぐチェックして準備を始めよう！

１位：気になる大学の情報を収集し、志望校を絞り込む（91 票）

ダントツで多かったのが「春休みのうちに志望校を検討するべき」という意見。高３生の４月からは受験勉強が本格化するため、高３生に進級する前の春休みが、余裕を持って志望校を検討できるラストチャンスというわけだ。それでは、先輩たちはどのように情報を収集していたのだろう。

大学のイベントは夏休みだけじゃない！
春休みにも高校生を対象にイベントを開催している大学があるので、積極的に参加して雰囲気を知るといいと思います。（名古屋工業大 工学部 Ｂ・Ｋ先輩）

大学パンフやサイトを活用しよう！
大学のパンフレットや進学情報サイトなどを活用することが大切だと思います。高校の進路指導室で、相談に乗ってもらうのもいいでしょう。（金沢大 人間社会学域 Ｍ・Ｓ先輩）

2位：基礎固め・ニガテ克服に取り組む（77 票）

基礎固めの中でも早く取り組むべき内容として、最も多く挙がった意見が「英単語や古文単語の暗記」。少なくとも英単語は文系・理系問わず使うものなので、早めに覚え始めよう。また、高３生になっても部活動を続ける人は、受験勉強と両立するための素地を今のうちに養っておこう。

部活動もがんばりたいなら、早めの復習を
高３の秋まで部活動を行うことがわかっていたため、時間に余裕のある春休みのうちに、これまで学んだ内容を総復習しました。そのおかげで、引退する日まで部活動に打ち込むことができました。（東京学芸大 教育学部 Ｍ・Ｅ先輩）

3位：志望校の入試問題や仕組みを分析する（27 票）

多くの学校で高２生のうちに学校に提出する「科目選択」。これは受験科目に直結するため、慎重に選ばなければいけない。今一度、気になる大学の入試科目を調べ、万が一にも自分の選択が受験の可能性を狭めてしまっていないか、確認しよう。

出典：Benesseマナビジョン